

明治維新

8 世紀以来、朝廷の政権は三度征夷大將軍に移譲されている。つまり、1192（鎌倉幕府）、1336（室町幕府）、1603（江戸幕府）この三つの時代に、天皇は儀式的な存在として京都の御所におり、実際の政権は幕府が握っていた。

1868 年の明治維新は、政治及び社会的な革命であり、江戸幕府の政権を明治天皇に奉還したというもの。日本の歴史の中の一転機であり、日本の政治、経済、または社会等に大きな変化をもたらした。

江戸時代の日本では、200 年以上安泰で繁盛な社会が構築され、強固な社会の礎が築かれたとされている。一方、明治維新は近代日本の出発点であり、日本を西洋化し、また東アジア初の近代工業国家として発展していく土台を作った。

西郷隆盛、大久保利通など明治維新に貢献した人物を多く輩出した鹿児島は、明治維新の実現と成功にかけがえのない主要な原動力の一つであったと言えるであろう。鹿児島では、幕末に薩摩藩主である島津家の 28 代当主の島津齊彬により、集成館という日本初の西洋風の工場群が建てられた。その中に綿を紡ぎ、大砲を鑄造し、薩摩切子を生産するなど様々な産業活動が展開され、輸出により藩の財政を強化し、日本の産業化を促進し、重要な役割を担っていたと言われている。2015 年 7 月、鹿児島市の仙巖園の隣に位置するこの旧集成館は「明治日本の産業革命遺産群」としてユネスコの世界文化遺産として登録された。

